

「魅力ある学校づくり」を進めるための 担当者連絡会 ～鳥飼小編～

発行人: 摂津市教育委員会
学校教育課
長谷川 惇
令和3年2月24日

「居心地のよきクラスづくり」の実践



各校の学校組織力向上担当者や学級経営を学びたい教職員とともに、鳥飼小学校の4年1組(担任:山崎教諭)の授業参観を行いました。

3月に鳥飼小学校を卒業する6年生のために、これまでの感謝や励ましを伝える壁面飾りを作るという授業でした。

導入では、「どんな内容にする?」「じゃー今日のめあては?」と問いかけ、子どもに一つひとつ考えさせます。そして、めあてと班ごとに作るのが決まれば、あとは子ども達が協力し合ってどんどん飾りづくりが進んでいきます。



1時間の授業で「素敵な壁面かざり」が完成しました。

クラスづくりで大切にしていること



担任の山崎先生が大切にしていることは、子どもを「よく見る」ということ。参観した授業の中でも、聞かせる場面ではしっかりと全員に聞かせ、作業に入ると個別に声をかけ、全体を見る視野の広さがとても印象的でした。

クラスでトラブルがあった時は、クラス目標に立ち返り、みんなで考える。宿題の字で見えるその時の心の状態に目を向ける。見えないけど雰囲気で感じる子ども同士のちょっとした違和感に気を配っているとされていました。

【事務局より】

みなさんのクラスは、子どもたちにとって「居心地のよいクラス」になっていますか?

学校ですごく時間の大半は、クラスであることは言うまでもありません。そのクラスが、「安全」で「安心」であってほしいと誰もが願っていると思います。

連絡会の後半、担任だけが、背負い込まないように「居心地のよいクラスづくり」を学校全体で進めるためにはどうすればいいかみんなで悩みました。これをやればいい!という特效薬はなかなか見つからないものです。だからこそ、担当者を中心に先生方と一緒に頭を寄せて考えてみませんか。